

2021年4月1日

西宮つとがわY M C A 保育園 4月えんだより

年 主 題 『 共に喜んで ～すべての歩みの中～ 』

年主題聖句 「 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです 」
＜コリントの信徒への手紙Ⅰ 12章26節＞

入園、進級おめでとうございます！

新しいグループ、新しい担任の先生、そして新しい友だち。子どもたちも、わくわくする思いと、これまでとはまた勝手が違う生活に戸惑いを見せる4月、特に新入園の子どもたちはわくわくよりどきどきが多い時を迎えています。しかし、それにもまして新入園のおうちの方々は不安が多い時ではないでしょうか？ 仕事の復帰、子どもの送り迎え、時間の流れもまったく違うようになり、大変さを覚えることもあるかと思います。

このY M C Aの保育園では、保育者だけでなくお台所の先生も事務所の先生も、みんなで「チーム」として語り合い、考えあって、子どもに最善のもの・こと・経験をできるよう歩もうとかかわりあっています。それは「一人はみんなのために、みんなは一人のために」ということを大切にしつつ、それぞれのもっているものを最大限に発揮して関わりあうために、互いを認め尊重しながら子どもに関われるようという思いを発揮できるようにと「仲間（チーム）」という意識を持つようにしています。

昨年度は、私たちのそうした思いを試された一年であったように感じます。これまで通りが適わない中で、感染症やできないことが多い脅威がそれぞれ違う中で、「可能な最善は」を模索しやりながら語り合って修正をすることを余儀なくしていた一年でした。そうした中でも、変わらない子どもの笑顔、そしてつたない取り組みにも喜んでくださった保護者の方々が力を与えてくださり歩めた一年であったと感じています。あらためて子どもも保護者も「仲間」であることに気づかされました。

新たな年に与えられた主題・聖句はまさに今の保育園に適った言葉であると感じています。保育者どおし、子どもと保育者、保育者と保護者、そして保護者どおしが「共に喜び合える」よう、大変な時は支えあい、その先の喜びを共有しあえる場になるよう一年歩んでいこうと思います。こんな状況ではありますが、こんな状況だからこそ、つながりを大切に願っています。

4月の聖句 「わたしはよい羊飼いだである」 ＜ヨハネ10章14節＞

4月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	であう	であう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 新しい環境や保育者に出会う * 保育者に守られて、安心して過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> * 気に入った場所や遊具が見つかる * 新しい環境で保育者や友だちと安心して過ごし、喜んで登園する * 神さまにであう (新入児)
讃美歌	ひかりひかり	